

JIS

コンクリート用再生骨材 H

JIS A 5021 : 2024

(JCI/JSA)

令和 6 年 3 月 21 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	久田 真	東北大学
(委員)	石田 知子	株式会社大林組
	鹿毛 忠継	国立研究開発法人建築研究所
	加藤 佳孝	公益社団法人日本コンクリート工学会 (学校法人東京理科大学)
	鎌田 敏郎	公益社団法人土木学会 (大阪大学)
	草野 昌夫	全国生コンクリート工業組合連合会
	古賀 裕久	国立研究開発法人土木研究所
	鈴木 澄江	工学院大学
	野口 貴文	一般社団法人日本建築学会 (東京大学)
	前田 敏也	一般社団法人日本建設業連合会 (清水建設株式会社)
	宮田 喜壽	防衛大学校
	丸山 慶一郎	一般財団法人建材試験センター
	水田 真紀	国立研究開発法人理化学研究所
	柳田 直	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (株式会社日東)
	山中 信彦	公益社団法人地盤工学会 (基礎地盤コンサルタンツ株式会社)
	吉田 雅彦	一般社団法人セメント協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 17.3.20 改正：令和 6.3.21

官 報 掲 載 日：令和 6.3.21

原 案 作 成 者：公益社団法人日本コンクリート工学会

(〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビル TEL 03-3263-1571)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 久田 真)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類, 区分及び呼び方	2
4.1 種類	2
4.2 粒度による区分	2
4.3 アルカリシリカ反応性による区分	3
4.4 呼び方	3
5 品質	4
5.1 不純物量	4
5.2 物理的性質	4
5.3 アルカリシリカ反応性	5
5.4 粒度及び粗粒率	5
5.5 粒形	6
5.6 塩化物量	6
6 製造	6
7 試験方法	7
7.1 試料の採り方	7
7.2 不純物量試験	7
7.3 アルミニウム片及び亜鉛片の有害量判定試験	7
7.4 密度及び吸水率試験	7
7.5 すりへり試験	7
7.6 微粒分量試験	7
7.7 アルカリシリカ反応性試験	7
7.8 ふるい分け試験	7
7.9 粒形判定実積率試験	8
7.10 塩化物量試験	8
8 検査	8
8.1 検査方法	8
8.2 検査データの保管	9
9 表示	9
10 報告	9
附属書 A (規定) 原骨材の特定方法	12
附属書 B (規定) 限度見本による再生骨材 H の不純物量試験方法	13

	ページ
附属書 C (規定) コンクリート用再生骨材 H に含まれるアルミニウム片及び亜鉛片の有害量判定試験方法	14
附属書 D (規定) コンクリート用再生骨材 H のアルカリシリカ反応性試験方法 (再生骨材迅速法)	16
附属書 E (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	20
解 説	22

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本コンクリート工学会（JCI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 5021:2018** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、令和 7 年 3 月 20 日までの間は、産業標準化法第 30 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS A 5021:2018** を適用してもよい。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

コンクリート用再生骨材 H

Recycled aggregate for concrete-Class H

1 適用範囲

この規格は、構造物の解体などによって発生したコンクリート塊りに対し、破碎、磨砕、選別などの高度な処理を行って製造したコンクリート用再生骨材 H（以下、再生骨材 H という。）について規定する。

なお、技術上重要な改正に関する新旧対照表を、**附属書 E** に示す。

注り コンクリート塊には、構造物の解体によって発生したもの以外に、コンクリート製品、レディーミクストコンクリートの戻りコンクリートを硬化させたものなどがある。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS A 0203** コンクリート用語
- JIS A 1102** 骨材のふるい分け試験方法
- JIS A 1103** 骨材の微粒分量試験方法
- JIS A 1104** 骨材の単位容積質量及び実積率試験方法
- JIS A 1109** 細骨材の密度及び吸水率試験方法
- JIS A 1110** 粗骨材の密度及び吸水率試験方法
- JIS A 1121** ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験方法
- JIS A 1144** フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法
- JIS A 1145** 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）
- JIS A 1146** 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（モルタルバー法）
- JIS A 1154** 硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験方法
- JIS A 1158** 試験に用いる骨材の縮分方法
- JIS A 1804** コンクリート生産工程管理用試験方法－骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（迅速法）
- JIS A 5002** 構造用軽量コンクリート骨材
- JIS K 8575** 水酸化カルシウム（試薬）
- JIS K 8576** 水酸化ナトリウム（試薬）
- JIS R 3503** 化学分析用ガラス器具
- JIS R 3505** ガラス製体積計
- JIS R 5201** セメントの物理試験方法